

2017年10月25日

各位

会社名 株式会社シーアールイー
代表者名 代表取締役社長 亀山 忠秀
(証券コード 3458 東証第一部)
問合せ先 取締役 永浜 英利
(TEL 03-5572-6600)

「ロジスクエア春日部」賃貸借予約契約の締結

株式会社シーアールイー（代表取締役社長/亀山忠秀 本社/東京都港区虎ノ門）は、埼玉県春日部市で開発を進めている物流施設「ロジスクエア春日部」において、小泉産業グループの物流企業であるコイズミ物流株式会社（<http://www.ls.koizumi.co.jp>）と賃貸借予約契約を締結しましたので、お知らせ致します。これにより、同施設は来年6月の竣工に先立ち、契約率100%となりました。

本契約は、「ロジスクエア春日部」の一棟全体（延べ面積 22,187.34 m²）を一括賃貸するもので、コイズミ物流株式会社は小泉産業グループの東日本向け物流拠点及び外販物流業務受託に向けた営業拠点として当施設を活用する計画であり、施設のスペックや同社既存センター（春日部市水角）からの距離、最寄り駅から徒歩圏であること等を評価し「ロジスクエア春日部」の入居を決定しております。

なお、「ロジスクエア春日部」は、東洋建設株式会社の設計施工により2017年6月に着工し、2018年6月末を竣工予定として建設を進めております。

<ロジスクエア春日部 完成イメージ>



■開発プロジェクト概要

施設名称： ロジスクエア春日部
所在地： 埼玉県春日部市永沼
敷地面積： 13,662.13 m² (4,132.79 坪)
主要用途： 倉庫（倉庫業を営む倉庫）
構造： 柱 鉄筋コンクリート造+梁 鉄骨造（3階のみ柱 鉄骨造）
規模： 地上3階建て
延べ面積： 22,187.34 m² (6,711.67 坪)
着工： 2017年6月26日
竣工： 2018年6月末（予定）
設計施工： 東洋建設株式会社

■「ロジスクエア春日部」について

「ロジスクエア春日部」は13,662 m²の敷地に地上3階建て、延べ面積22,187 m²の物流施設として2017年6月26日に建設工事に着手し、2018年6月末の竣工を予定しております。

施設は、ワンフロアが約2,150坪の3階建てで、1階のトラックバースを北側・東側の2面に配置し、場内出入口は入口専用、出口専用の計2カ所のゲートを設け、敷地内車両動線をワンウェイとしております。庫内は平均照度300ルクス以上、床荷重は1.5 t/m²、有効高さは各階6.0m以上を確保し、防火区画壁には耐火断熱パネル^(※1)を採用、さらにブレース（筋交い）や間柱を無くす事で保管効率の向上に寄与する設計となっております。

※1 断熱性・耐震性・美観に優れ、倉庫業法で定められた壁強度（2,500N/m²）を有する耐火断熱パネルであり、マイナス10℃帯までの冷蔵冷凍倉庫の間仕切り壁として使用する事も可能

「ロジスクエア春日部」は、国道16号線と国道4号線（越谷春日部バイパス）に程近く、両国道の交差部分である「庄和」インターチェンジより約1.8kmに位置しております。また、接道する都市計画道路藤塚米島線（幅員16m）の全線開通により、主要幹線道路へのアクセスが飛躍的に向上し、物流施設としてのロケーションは良好です。

■株式会社シーアールイー

当社は、現在、物流不動産を中心に約1,400物件、約120万坪（約400万m²）^{※2}の不動産の管理運営を行っております。物流不動産特化の管理会社としては、国内最大規模となり、サービス領域においては、物流不動産開発・テナントリーシングから竣工後のアセットマネジメント、プロパティマネジメントまでのトータルサービスをワンストップでご提供しております。

物流不動産開発においては、現在、物流施設5物件、延べ面積約20,000坪（約68,000m²）の開発を進めております。当社独自に構築してまいりました多数のテナント企業とのリレーションシップによりテナント企業が求めるニーズを的確に捉え、テナント企業の個別ニーズを満足させた上で更に機能性・汎用性をも兼ね備えた物流施設造りを推進し、継続的にご提供してまいります。また、前身からの50年におよぶ業歴から得た物流不動産の管理運営の知見・ノウハウを開発事業に注ぎ込むことにより、利用者の立場に立った利便性の高い施設開発を目指し、首都圏は勿論のこと、全国の物流適地において積極的に物流施設開発に取り組んでいく方針です。

（※2 2017年7月末時点）